

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県栗国島

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況													
生産計画の 達成状況等	1 令和5年産の生産実績												
		収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
		夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
	H28年産実績	21	0	10	32	9,312	4,064	5,252	7,968	1,993	8	541	2,542
	H29年産実績	21	1	18	40	6,692	3,735	2,799	4,855	1,385	34	504	1,923
	H30年産実績	21	1	18	40	6,037	2,790	3,737	4,943	1,268	20	665	1,952
	R元年産実績	23	0	22	45	4,284	2,296	2,773	3,543	992	9	600	1,601
	R2年産実績	21	1	20	42	6,207	3,256	2,796	4,534	1,314	34	548	1,896
	R3年産実績	17	1	25	43	5,120	2,774	2,761	3,682	849	14	701	1,565
	R4年度実績	17	-	22	39	6,548	4,156	2,941	4,487	1,082	8	646	1,736
	R5年増産計画	23	1	11	35	7,826	3,000	5,564	7,182	1,800	30	612	2,442
	R5年増産実績	16	0	20	37	5,346	2,962	15	3,969	867	15	580	1,462
	(対計画比%)	(70.5)	(49.0)	(182.9)	(105.2)	(68.3)	(98.7)	(0.3)	(55.3)	(48.2)	(48.4)	(94.8)	(59.9)
	(対前年比%)	(95.4)	(0.0)	(91.5)	(94.4)	(81.6)	(0.0)	(0.5)	(88.5)	(80.1)	(181.4)	(89.8)	(84.2)
2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産													
・株出栽培の割合		56.4%	→	54.6%	・さとうきび作農家戸数		38戸	→	37戸				
・平均糖度		15.3度	→	16.1度									

増産目標に対する位置づけ	令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった <table><tr><td></td><td>収穫面積</td><td>単収</td><td>生産量</td></tr><tr><td>(計画)</td><td>35ha</td><td>7,182kg/10a</td><td>2,442t</td></tr><tr><td>(実績)</td><td>37ha</td><td>3,969kg/10a</td><td>1,462t</td></tr></table> 令和5年度は、台風6号と干ばつの影響を受けたため、見込みより減収となる圃場が多々見受けられた。また、株出圃場は適期の株出管理及び肥培管理が十分にできておらず、単収が伸び悩んでいる。		収穫面積	単収	生産量	(計画)	35ha	7,182kg/10a	2,442t	(実績)	37ha	3,969kg/10a	1,462t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	35ha	7,182kg/10a	2,442t										
(実績)	37ha	3,969kg/10a	1,462t										
課題	① 耕作放棄地の解消と農地の流動化による収穫面積の拡大 ② 溜池の未整備地区への水源確保 村内2地区において、かんがい施設の整備が不十分(干ばつ等の影響を受けやすい) ③ 機械化一貫体系基盤の強化に向けたトラクター等作業機械の導入及び株出管理作業等の受委託体制の構築・検討												
令和5年産における取組方針	主なさとうきび生産振興策として ① 耕作放棄地の解消と農地の流動化による収穫面積の拡大 ② 未整備地区においては、早急に事業担当課と協議して整備計画に取り組む ③ 早期適期植付、肥培管理の徹底												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																												
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 ・耕作放棄地の解消と高齢農家支援のための受託組織の育成に向けて検討会を重ねた	・研修会等への派遣 ・農業委員会や農地中間管理機構と連携した 地主の意向調査																																																												
	【目標の達成状況】																																																													
	<table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>認定農業者</td><td>-</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>農業法人</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	-	3	3	3	3	1	7	7	農業法人	-	-	-	-	-	2	2	2																																	
			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																																																				
認定農業者	-	3	3	3	3	1	7	7																																																						
農業法人	-	-	-	-	-	2	2	2																																																						
【課題】 ・耕作放棄地の解消と農地の流動化による収穫面積の拡大																																																														
②農業共済制 度への加入促 進	【実施した取組】 ・単位当たり共済金額の個人選択制を導入した。	・単位当たり共済金額の個人選択制の導入を 推進していく ・共済制度説明会等を通じた制度の周知と加 入促進																																																												
	【目標の達成状況】																																																													
	<table><tr><td></td><td>H27 (28年産)</td><td>H28 (29年産)</td><td>H29 (30年産)</td><td>H30 (R元年産)</td><td>R元 (R2年産)</td><td>R2 (R3年産)</td><td>R3 (R4年産)</td><td>R4 (R5年産)</td><td>R5 (R6年産)</td></tr><tr><td>加入戸数 (戸)</td><td>26</td><td>22</td><td>27</td><td>24</td><td>23</td><td>20</td><td>21</td><td>17</td><td>13</td></tr><tr><td>戸数引受率 (%)</td><td>81.3</td><td>64.7</td><td>75.0</td><td>72.7</td><td>65.7</td><td>58.8</td><td>60.0</td><td>50.0</td><td>35.1</td></tr><tr><td>引受面積 (ha)</td><td>28</td><td>31</td><td>28</td><td>35</td><td>31</td><td>33</td><td>36</td><td>28</td><td>19</td></tr><tr><td>面積引受率 (%)</td><td>88.9</td><td>77.5</td><td>70.3</td><td>77.4</td><td>75.0</td><td>78.1</td><td>86.1</td><td>66.5</td><td>52.0</td></tr><tr><td>共済金額 (千円)</td><td>32,450</td><td>31,759</td><td>30,236</td><td>36,845</td><td>33,994</td><td>34,964</td><td>24,070</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>			H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)	加入戸数 (戸)	26	22	27	24	23	20	21	17	13	戸数引受率 (%)	81.3	64.7	75.0	72.7	65.7	58.8	60.0	50.0	35.1	引受面積 (ha)	28	31	28	35	31	33	36	28	19	面積引受率 (%)	88.9	77.5	70.3	77.4	75.0	78.1	86.1	66.5	52.0	共済金額 (千円)	32,450	31,759	30,236	36,845	33,994	34,964	24,070	-	-
			H27 (28年産)	H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)																																																			
	加入戸数 (戸)		26	22	27	24	23	20	21	17	13																																																			
	戸数引受率 (%)		81.3	64.7	75.0	72.7	65.7	58.8	60.0	50.0	35.1																																																			
	引受面積 (ha)		28	31	28	35	31	33	36	28	19																																																			
面積引受率 (%)	88.9	77.5	70.3	77.4	75.0	78.1	86.1	66.5	52.0																																																					
共済金額 (千円)	32,450	31,759	30,236	36,845	33,994	34,964	24,070	-	-																																																					
注) R4、R5 年産の数値については概算値																																																														
【課題】 ・共済事業に対する農家の意識が低い ・制度の理解不足																																																														

(2) 生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】 ・台風通過後の被害調査の実施(潮害調査含む) 【目標の達成状況】 <table><thead><tr><th></th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th><th>R元 実績</th><th>R2 実績</th><th>R3 実績</th><th>R4 実績</th><th>R5 見込</th></tr></thead><tbody><tr><td>ほ場整備率</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>実績</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>水源整備率</td><td>51.2</td><td>51.2</td><td>51.2</td><td>51.2</td><td>51.2</td><td>51.2</td><td>51.9</td><td>51.9</td></tr><tr><td>畑地かんがい整備率</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr></tbody></table> 【課題】 ・村内2地区において、かんがい施設の整備が不十分(干ばつ等の影響を受けやすい)		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	ほ場整備率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0	水源整備率	51.2	51.2	51.2	51.2	51.2	51.2	51.9	51.9	畑地かんがい整備率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	・未整備地区においては、早急に事業担当課と協議して整備計画に取り組む ・干ばつ発生に備えた灌水車等の導入に向けた計画作成・調整等
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込																														
ほ場整備率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0																														
水源整備率	51.2	51.2	51.2	51.2	51.2	51.2	51.9	51.9																														
畑地かんがい整備率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0																														
②機械化一貫体系の確立	【実施した取組】 ・単収向上のため適正な畝幅について重点的な啓発活動を実施し、刈倒機の導入による作業の省力化を図った。 【目標の達成状況】 <table><thead><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr></thead><tbody><tr><td>脱葉機稼働台数</td><td>8</td><td>7</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>脱葉機処理面積</td><td>18</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>脱葉機処理率(面積)</td><td>56.3</td><td>3.7</td><td>1.4</td><td>3.8</td><td>3.4</td><td>2.3</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr></tbody></table> 【課題】 ・機械化一貫体系基盤の強化に向けたトラクター等作業機械の導入及び株出管理作業等の受委託体制の構築・検討		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	脱葉機稼働台数	8	7	2	2	2	1	0	0	脱葉機処理面積	18	1	1	1	1	1	0	0	脱葉機処理率(面積)	56.3	3.7	1.4	3.8	3.4	2.3	0.0	0.0	・事業活用に向けた機械導入計画作成・調整等 ・オペレータの育成及び研修会等への派遣
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
脱葉機稼働台数	8	7	2	2	2	1	0	0																														
脱葉機処理面積	18	1	1	1	1	1	0	0																														
脱葉機処理率(面積)	56.3	3.7	1.4	3.8	3.4	2.3	0.0	0.0																														
③地力の増進	【実施した取組】 ・一部農家においては堆肥活用（島内堆肥） 【課題】 ・土づくり(緑肥・堆肥)が十分でない ・島内で堆肥製造しているものの量が少なく、さとうきびほ場への投入が少ない	・夏植を始める前に、緑肥を配布して土づくりの意識を高める																																				

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①病害虫対策	【実施した取組】 ・ツマジロクサヨトウ発生調査 【目標の達成状況】 <table><tr><td></td><td>H28 (実績)</td><td>H29 (実績)</td><td>H30 (実績)</td><td>R元 (実績)</td><td>R2 (実績)</td><td>R3 (実績)</td><td>R4 (実績)</td><td>R5 (実績)</td></tr><tr><td>農林15号</td><td>25.0</td><td>20.0</td><td>10.0</td><td>20.0</td><td>19.0</td><td>11.6</td><td>20.5</td><td>18.9</td></tr><tr><td>農林21号</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>農林25号</td><td>15.6</td><td>12.5</td><td>12.5</td><td>6.7</td><td>7.1</td><td>2.3</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>農林26号</td><td>9.3</td><td>5.0</td><td>2.5</td><td>2.2</td><td>2.4</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>農林27号</td><td>46.9</td><td>50.0</td><td>32.5</td><td>35.6</td><td>38.1</td><td>60.5</td><td>61.5</td><td>43.6</td></tr></table> 【課題】 ・病害虫被害の軽減に向けた適期防除の推進と共同防除の実施		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林15号	25.0	20.0	10.0	20.0	19.0	11.6	20.5	18.9	農林21号	-	-	-	-	-	-	-	-	農林25号	15.6	12.5	12.5	6.7	7.1	2.3	-	-	農林26号	9.3	5.0	2.5	2.2	2.4	-	-	-	農林27号	46.9	50.0	32.5	35.6	38.1	60.5	61.5	43.6	・甘味資源作物生産性向上緊急対策事業等を活用した適期防除作業の啓発 ・他品目農家や関係機関と連携した、共同防除の検討 ・新植時の農薬散布の徹底
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																
農林15号	25.0	20.0	10.0	20.0	19.0	11.6	20.5	18.9																																																
農林21号	-	-	-	-	-	-	-	-																																																
農林25号	15.6	12.5	12.5	6.7	7.1	2.3	-	-																																																
農林26号	9.3	5.0	2.5	2.2	2.4	-	-	-																																																
農林27号	46.9	50.0	32.5	35.6	38.1	60.5	61.5	43.6																																																
②優良品種の 選択・普及	【実施した取組】 ・苗管理センター沖縄農場からの無病健全苗の供給と普及 ・事業を活用した種苗ほの委託設置 【課題】 ・自然災害等に適した品種構成及び選定	・種ほの設置による健全苗の供給に努める ・村で種苗の安定確保を維持する																																																						
③栽培技術の 普及等	【実施した取組】 ・早期植付、肥培管理の徹底 【課題】 ・栽培指針に基づき基本的な栽培技術を励行 ・栽培技術講習会の継続的な開催	・栽培指針に基づき関係機関と連携し、指導、助言を図る ・南部農業改良普及センター等による栽培講習会の実施																																																						